

ID&Eグループ マテリアリティ -IDEALな世界の実現に向けて-

| マテリアリティ | | 主な取組 | 指標 | 目標値 (2030年6月期) | 関連するSDGs | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|---|---|--|---|-------------------------------|---|
| 1. 分断・格差のない世界の構築 | 1-1 | グローバルな視点と地域に根ざした取り組みにより、インフラ開発・人づくりに貢献する | ① 世界各地のニーズに適した事業の推進 | 売上高 (合計) | 2,500億円 | | |
| | | | | 日本 | 1,250億円 | | |
| | | | | アジア | 650億円 | | |
| | | | | 英国・欧州・中東・アフリカ | 450億円 | | |
| | 1-2 | 多様な技術の統合により、強靱な社会を実現する | ② 当グループの事業活動 (インフラ開発・人づくりなど) における人権への配慮 | 人権影響評価調査の実施状況 | 毎年、確実かつ適切に実施する | | |
| | | | | 特定されたリスクへの対応状況 | 毎年、確実かつ適切に実施する | | |
| 2. すみよい地球環境の実現 | 2-1 | 安全で安定したエネルギーの供給により、グリーンな社会を構築する | ① 再生可能エネルギーの普及推進* *RE100電力供給事業の拡大、蓄電池事業の日本・アジア展開、地域マイクログリッドの推進、電力系統更新・増強など | 再生可能エネルギー普及推進関連売上高 | 430億円 | | |
| | | | | RE100電力供給事業 電力販売量 | 年間100GWh | | |
| | 2-2 | 人と自然が共生できる空間づくりにより、幸せを感じる生活を実現する | ② 再生可能エネルギー・次世代エネルギーに関する研究開発・投資 | 研究開発費・投資額 | 関連売上高の15% | | |
| | | | | ① The Good City事業*の展開 *都市住環境の整備、地域・都市の再開発、公共建築物へのサステナブルデザインの導入、など | 関連売上高 | | 420億円 |
| | 2-3 | 多彩なアプローチにより、気候変動や生態系回復に挑戦する | ② 空間づくりに関する研究開発 | 研究開発費・投資額 | 関連売上高の0.9% | | |
| | | | | ① サステナビリティ関連ビジネス*への本格参入 *脱炭素、生物多様性、廃棄物、人権、well-beingなど | サステナビリティ課題対応ビジネスの売上高 | | 440億円 |
| | | | | | ② ネイチャーポジティブへの貢献 (生態系維持・回復事業など) | 生態系維持・回復貢献面積 | 直接貢献: 5ha 間接貢献: 100,000ha |
| | | | | | | ID&Eグループの事業におけるTNFD提言に基づく対応状況 | 売上の7割以上を占める主要事業会社5社を対象とする定量情報開示 |
| | 3-3 | 特定されたインパクトへの対応状況 | ③ カーボンポジティブへの貢献 (GHG削減、カーボンクレジット・オフセット関連事業など) | 事業を通じたGHG削減貢献量 | 直接貢献: 36,000 (tCo2) 間接貢献: 1,000,000(tCo2) | | |
| | | | | ④ ID&EグループのGHG排出量の削減 (TCFD対応) | ID&Eグループ (売上の7割以上を占める主要事業会社5社) のGHG (スコープ1,2) 排出量 | 2023年6月期比で42%減 | |
| | | | | | ① 3事業セグメントの技術の結集により、多様な社会の要請に応える | ① セグメント連携による新規市場への進出と新規事業の創出 | グループ内外共創事業売上高 |
| | | | | 3-2 顧客や異業種パートナーとの連携により、新たな価値を創出する | | | ① 異業種企業との協業・アライアンス・グループ会社化による新規市場への進出と新規事業の創出 |
| 3-3 グループ一体となった技術開発により、競争力を高める | ① AIをはじめとした先端技術のグループ横断的な開発・活用 | 研究開発費・投資額 | 10億円 | | | | |
| | | 4. 多様なグループ人材の活躍 | 4-1 | Well-being経営により、エンゲージメントを高める | ① ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン経営の実現 | 女性管理職比率 | 15% |
| 男女間賃金格差 | 80% | | | | | | |
| 高度外国人材比率 | 3.5% | | | | | | |
| 障害者雇用比率 | 3.0% | | | | | | |
| 男性育児休業取得率 | 85% | | | | | | |
| 健康診断の有所見率 | 58% | | | | | | |
| 4-2 | ID&Eグローバルアカデミーにより、従業員の成長と活躍の機会を創出する | | ② Well-being経営の推進 | アブセンティズム | 2.3日 | | |
| | | | | フレゼンティズム | 85% | | |
| | | | | ワークエンゲージメント | 3.3 | | |
| | | | | ① ID&Eグループの企業理念を体現する人材の育成 | 経営人材育成のための研修の累計受講者数 | 2024年6月期末から360名増加 | |
| | | | | | グローバル人材育成のための研修の累計受講者数 | 2024年6月期末から600名増加 | |
| | | | | | DX人材育成のための研修の累計受講者数 | 2024年6月期末から600名増加 | |
| ② 社員エンゲージメント向上に向けた各種指標のモニタリングとデータ活用 | ③ 企業の枠を超えた交流・連携 | エンゲージメント指数のサーベイ回数 | 1回/年 | | | | |
| | | キャリア育成に資するアンケートの実施回数 | 1回/年 | | | | |
| | | 以下のような交流・連携施策の実施数 ・グループ会社間の派遣 ・出向・研修など人材交流支援 ・他社や研究機関との共同研究や共創事業への取り組み支援 ・国内外大学等への留学支援 ・学協会等への参加奨励 | 5施策/年 | | | | |
| 5. 誠意と技術を軸にしたグループ経営 | 5-1 | 誠意をもってことにあたる組織風土により、社会との信頼関係を深める | ① 企業理念の浸透とコンプライアンスの徹底 | コンプライアンス研修の実施割合 | 100% | | |
| | | | | コンプライアンスに関する社内相談窓口の認知度 | 100% | | |
| | | | | グループ行動指針の新規採用者への周知状況 | 100% | | |
| | 5-2 | ID&Eブランドの追求により、高品質な技術・サービスを持続的に提供する | ① 高品質なサービスの提供 | 顧客からの表彰件数 | - | | |
| | | | | 技術士の数 | 2,400名 | | |
| | | | | 博士号新規取得数* *社内制度を利用して取得した人数 | 2024年6月期末から5名増加 | | |
| | 5-3 | ステークホルダーとの対話を通して、相互理解を促進し社会の要請に応える | ① 社外ステークホルダーとの相互理解の促進 | 社外ステークホルダーとの対話回数 | 毎年、確実に対応する | | |
| | | | | ② 「ステークホルダー・エンゲージメントに関する行動ガイドライン」の実践 | 行動ガイドラインに基づく行動計画を作成・実践するグループ会社の数 | 全ての連結対象グループ会社 | |

* 目標値は、当社グループの売上高のうち70%以上を占める主要会社5社 (日本工営 (株)、日本工営都市空間 (株)、BDP HOLDINGS LIMITED、日本工営エナジーソリューションズ (株)、日本工営ビジネスパートナーズ (株)) を中心に設定しました。
(マテリアリティ4の目標値は、日本工営 (株)、日本工営都市空間 (株)、日本工営エナジーソリューションズ (株)、日本工営ビジネスパートナーズ (株) を中心に設定しました。)